

こうりゅう

Vol. 15

放送大学静岡同窓会会報誌

発行：放送大学静岡同窓会

発行日：令和 6 年8月1日

目次	裁判傍聴しませんか？	根本猛・・・	1	津田梅子(岩倉使節団・・・)	桜井恒雄・・・	10
	生物の同一化を通した・・・	竹本裕之・・・	3	ちょっとした投稿	坂倉幾夫・・・	15
	日本語教育に・・・	後藤りか・・・	5	同窓会総会議事録	・・・	15
				(活動報告、会計報告、事業計画、予算、役員)		
	スペイン風邪と新型コロナ	一会員・・・	7	編集後記	・・・	22

裁判傍聴しませんか？

静岡大学名誉教授 根本 猛

1. 以前の裁判傍聴

皆さんは裁判を傍聴したことありますか？ ないという方がほとんどではないかと思います。ところが、15 年近く前は、(法学科ではない)医療・福祉系の学科・学部の学生にきいてみると、3割から半分近くの学生が手を挙げて驚いたものです。

ここでははんと閃いた方は世情に敏感な方ですね。今から 15 年前に始まったある制度が関係しています。そう、裁判員制度、一般市民が裁判官とともに刑事裁判の審理を行うアレです。裁判員制度発足を前に、裁判所は市民に開かれた裁判所アピールに余念がなかった。そして中年以下の方なら経験された総合学習の時間の格好のネタとなって、あちこちの小中学校や高校で、クラス単位の裁判傍聴が実施されたと推測します。

私もそのころは(法科大学院ではなく)学部学生のお相手をしていて、毎年少なくとも1回は裁判傍聴していました。学生 10 人くらい連れて行ったとき、簡単に審理が終わり帰ろうとしたら、裁判官から呼び止められて「良い機会だから少しお話しませんか？」

裁判官から「今日は法廷をみてもらって、質問や感想はありますか？」 こう問いかけられたら放送大学

の学生諸君は、はい！って手を挙げる？(笑) 生徒は何歳ころから手を挙げなくなるの？

裁判官によると、過日裁判傍聴に来た小学生は全員手を挙げたそう。で、「おじさん、なんでそんな服を着ているの？」と聞いたとか。裁判官は、私心はない(公平中立)という意味で、法服という黒っぽい服を着ています。

2. 今回の裁判傍聴

その後、法科大学院の専任教員になったので、学生引率しての裁判傍聴はしばらくご無沙汰でした。今年度のセミナーで、そうだと裁判傍聴も面白いんじゃないと突然思い出して、今回の裁判傍聴になった次第。6月なかばに、初めての地裁沼津支部に行ってきました(以前は静岡地裁本庁に)

学生たちは当然初めてだし、私も久しぶりだったので、いろいろ余計な心配も。服装は？、身分証明書いるの？、セキュリティチェックあるの？、スマホを預けさせられる？ すべて要らぬ心配でした(笑)

2件傍聴しました。軽い気持ちで行ったのですが、どちらもなかなか重い内容(>_<)

(1) 詐欺事件

まず1件目は詐欺事件の論告求刑です。開廷5分前くらいに傍聴席に入ると法廷にいるのは爽やかな感じの30歳前後と思われる青年だけ。裁判所の事務官かと思っていたら、検察官・弁護人などが次々に現れ、爽やか青年が被告人でした。

今あちこちで問題になっている特殊詐欺の受け子。高齢者から多額の現金を受け取ったとして、懲役3年を求刑されてました。一方弁護側は、重要書類の受け渡しを頼まれただけ、現金とは知らなかったとして無罪主張。ちょっと驚きですが、仮に詐欺罪が成立するとしても、初めてだし被害弁償しているので、執行猶予付き判決を望むとも。

(2) 傷害事件

2件目の法廷に行ったら、20年近く前の法科大学院の教え子が(°_°) 傷害事件の弁護人でした。こちらは第1回公判で、人定質問から一気に論告求刑まで。前科ウン犯の中年男性が、スナックで無銭飲食して、ママから引き留められたところ、振り払おうとしてケガさせたと。

昨年3月に、執行猶予付き判決を受けて、禁酒を誓ったのに…… 弁護人からも検察官からも厳しく責められていました。ただ強盗傷害で立件されても不思議じゃない事件が、単なる傷害で求刑が懲役10ヶ月になったのは、教え子さんの弁護活動のおかげ？ 判決の言い渡し日を、裁判官と検察官、弁護人がそれぞれ手帳を出してアナログ的に調整している光景は、20年前と同じでした。

3. 感想など

1時間半ほど傍聴した後、受講者たちと感想を交換しました。学生たちは、みな傍聴初体験でとても面白かったよう。

身柄拘束中の被告人が、目の前に手錠・腰紐で現れたのがショッキングとか、一見まともにはみえない恐そうな傍聴人は特殊詐欺の仲間？、金ないのに酒やめられない中年男性(たぶん実刑で刑務所に)に必要なのは福祉的な対応では？ 皆さん、よく見てらっしゃいます。

あと詐欺事件の裁判官と傷害事件の検察官が比較的若い女性だったことに驚いたという声も。そうです、法曹界も女性の進出は例外ではありません。

というわけで、ほぼ 20 年ぶりの裁判傍聴はなかなかエキサイティングでした。2匹目のどじょうを狙って、来年度もセミナーは裁判傍聴にしようかと思っています。裁判傍聴してみたい方はどうぞ！(もちろん裁判傍聴はセミナーとは関係なく自由にできます)

研究発表会から

生物への同一化を通じた環境学習プログラム参加者における超個的自己認識構造

竹本 裕之

このたび僭越ながら会報誌への原稿を書かせていただくことになりました。私は 20 年近く昆虫の研究者として、昆虫による餌探索と匂いの学習を研究してきました。その中で、生き物について学ぶことの人間発達の意義に興味をもつにいたり、2021 年 4 月から 2 年間、放送大学人間発達科学プログラムの進藤聡彦先生にご指導いただいて、修士論文の研究を行いました。今回はその研究について紹介をいたします。

本研究は主に2つの人間発達観を背景にしています。1つ目は、心理学者の溝上慎一により説明されている、他者への同一化とポジショニングの概念です(溝上, 2008)。同一化とは、いわば相手になったつもりになることで、相手の視点で物事を見て、相手の立場から見た価値観を自分自身の価値観として共有することです。ポジショニングとは、同一化により得た新しい価値観に基づいて、自分自身や自分の生きる世界を振り返り、自己観や世界観を作り直すことです。例えば、映画をみて、主人公の視点で出来事を体験し、見終わった後にいつもの風景が違って見えたり、生き方を考え直すようなことです。2つ目は、Bronfenbrenner et al., 1996)の生態学的発達システム論です(Bronfenbrenner et al., 1996)。実生活においてひとはもちろん映画だけではなく実際の他者との関わりを経験します。育ちの初期に家族・両親に限られていた社会関係は、しだいに地域コミュニティや学校などへと拡大していき、多様な他者体験のサイクルを通して自己も拡大していきます。

一方で、自己形成にかかわる他者には、他の種の生物も含まれます。テレビ番組のネイチャードキュメンタリーなどで、他の生き物が人間とは全く違った論理で生きている姿を見て、新鮮に感じたことはありませんでしょうか。そのような体験は、現代のこの時代、この社会に生きる人間の論理について浮き彫りにして理解するとともに、それを改めて捉え直す機会になると思います。他の生き物を他者とする社会関係を通して拡大した自己観は生態学的自己とよばれ、環境保護や社会的公正を保護する態度につながるものが

指摘されています(Næss et al., 1997)。では、他の生き物はどのように他者として同一化・ポジショニングされるのでしょうか。本研究では、学習プログラムを制作し、参加者の記述を分析することを通して検討を行いました。

学習プログラムでは、昆虫による餌探索と匂いの学習について説明し、学習者は虫とその生活状況(できること、やりたいこと、おかれた環境)を知り、想像することが研究において重要であることを学びます。そして、虫になったつもりになって、匂いを使った探索を行う「嗅覚迷路ゲーム」(竹本, 2021)を行います。このゲームは、3名から5名でテーブルを囲んで座り、実施者が目隠しをした状態で、紙の上の迷路を行います。予め実施者は5種類のにおいから3種類を選び、匂いと進む方向(上、右、左)との対応を決めて表を作成しておきます。協力者がその表に従って匂いを提示し、実施者をゴールに導きます。

調査では、なりきり作文という活動を前後に行って、プログラムの効果をさぐりました。なりきり作文では、どのような生き物か、何をしているか、いるところはどのようなところか(できること、やりたいこと、おかれた環境)と、ステップを踏んで、考えや気持ちを書いてもらうようにしました。本調査の参加者は中学3年生から高校3年生までの 91 名です。作文のコーディングを行って分析した結果、音や光、匂いなどの感覚に関する言葉や、対象の生き物の視点から書かれた記述が、プログラム実施後に増加していました。例えば「イヌ」を選んだ人が、「ある程度自分のやりたいことができる。ぐうたらしていてもご飯がもらえる。」から「飼い主さんが来た。このにおいは多分餌だ」というように、あるいは「カブトムシ」を選んだ人が、「ゼリーまずそう」から「せまい」というように、情報や価値について記述する視点が人間から対象に移る例がみられました。

プログラムの感想には「自分は難しかった匂いの判別が自然界でできている虫はすごいと思った」というような、虫と比較して人を相対化する記述が多くみられました。分析の結果、このような相対化のプロセスには、対象についての学びを通じた自然観の変容と自己についての省察の両方が関係しており、自己省察の記述が見られる人に、なりきり作文における対象を中心とした視点や価値の記述も多くみられる傾向がありました。したがって学習支援者としては、学習者が自己の省察と結びつける状態まで、振り返りの段階を進めるような関わりが有効であると結論づけました。

幾分言葉足らずになってしまいましたが、以上が研究の概略です。私は大学に職員として勤めていますが、放送大学のゼミでは学校教員のかたにコメントをいただく機会が多くありました。私の研究手法は主にデータをもとに数量的な解析を行うものでした。これは私がこれまでの生き物の行動を対象とした研究を通して使い慣れた手法だったからです。しかし、現場の先生方の関心は「どのような児童生徒がどのように変わったのか」という臨床的な知見にあると感じました。それが学びや育ちの支援の現場では役立つのではないかと思います。今後の研究では、一人ひとりの内面を深く捉えるようなアプローチを取り入れていければと考えております。

Bronfenbrenner, U.・磯貝 芳郎・福富 護 (1996). 人間発達の生態学 (エコロジー): 発達心理学への挑戦. 川島書店. Næss, A.・斎藤 直輔・関 龍美 (1997). ディープ・エコロジーとは何か: エコロジー・共同体・ライフスタイル. 文化書房博文社. 溝上 慎一 (2008). 自己形成の心理学: 他者の森をかけ抜けて自己になる. 世界思想社. 竹本裕之 (2021) 嗅覚迷路ゲーム: 昆虫の餌探索の疑似体験を通じた環境学習の試み. 日本科学教育学会年会論文集 45, 551-554.



修士論文:「日本語教育における類義語指導をめぐる一考察

—説明法と理解度に関する調査結果に基づいて—

放送大学大学院 文化科学研究科 人文学プログラム 後藤りか

私は 2023 年度放送大学大学院文化科学研究科人文学プログラムを修了し、それまでの研究をまとめた論文を提出いたしました。2024 年 5 月 25 日には、静岡学習センターでの研究報告会という機会を頂き、本研究について発表させていただきました。

1, 研究の背景と目的

私は大学で留学生の日本語指導を担当していることから、類義語に関する質問やその指導を日常的に行っています。しかし、その指導法というものに共通したものはなく、辞典や学習者向けのテキスト等では、実際の学習の場である授業や会話の中での指導に対応することは難しく、また、日本語教育の分野での類義語に関する書籍などの多くは日本語学習者向けには作られていません。類義語指導は学習者の理解度に大きく関わり、日本語を使う能力にも大きな影響があります。そこで、本研究では、指導者と学習者の双方にとってどのような 類義語指導が望ましいのかを検証することを目的としました。

2, 先行研究

日本語教育における類義語指導に関する選考研究や論文は数多く出されていますが、そのほとんどは個々の類義語の意味分析や、適切な例文の検証、その語義分析の方法について論じられているものです。一方、メタ言語での有効な指導の可能性は低いとして、言葉によって説明することの限界に触れているものもあります。本研究では、それらをふまえて、言葉による説明と適切な例文の必要性を探りその効果を検証します。

3, 本研究の意味論的背景—意味分析という方法

わかりやすい類義語指導にはどのような点が重要なのかということを考え、まず言葉の意味を分析し、そこから導かれる類義語の差異を明らかにすることが重要であると考えました。言葉の意味特徴を明らかにするために、類義語の意味分析に取り組み、そこから導き出した言葉の意味特徴の対照的な表現が、類義語指導に有効な一つ目の方法と考えました。加えて、辞典類での記述に見られるような、語義を言葉で説明するという方法を二つ目の方法としました。その一方、類義語の差異を明示した適切な例文があれば学習者も語義の違いを感じとることができる可能性を考え、適切な例文の提示というものを類義語指導の三つ目の方法として挙げました。

- ・語義の違いを言葉によって説明(a解説)
- ・語義の違いを表す対照的なキーワードによる解説(b解説)
- ・語義の違いを表す例文の提示(c 例文)

以上三つの方法の影響を検証するために、調査を行いました。

4, 調査方法と目的

本調査では、大学に在籍する外国人留学生 34 名に協力を得ました。アンケートは Google フォームを利用して行い、グループ1・グループ2それぞれの理解度を調査しました。

質問に使用した類義語

I こっそり／そっと	II いやな／きらいな	III 足す／加える
IV さて／ところで	V 原因／理由	VI つまらない／くだらない

5, 調査結果と考察

t検定とカイ二乗検定を用いた分析により、b解説に効果がある可能性と c 例文には混乱 が少ないという可能性が見られました。また、解答変化の集計と考察からは、解説が短い b 解説の方が、学習歴の短い学習者にとって理解し易いと言う可能性と初級者への有効性が感じられました。さらに、質的考察からは、さらなる語彙の精査やコロケーションの適切さという点が重要であると考えられました。

6. まとめ

本研究の前半では、本研究の意味論的な背景、そして意味分析について述べました。類義語の意味分析から導き出した意味特徴の対照的な表現を、類義語解説の1つ目の方法とし、文 による説明と、例文の提示を合わせて、それら 3つの方法の有効性を探りました。その結果、b解説の短く対照的な言葉での表現が、効果が大きい可能性が見られました。一方、今回の調査で挙げられた幾つかの課題について考慮を重ね、予備調査をし、より多くの協力者のもとで本調査を行う必要が考えられました。また、さらなる意

味分析により、さらに正確で実証的な研究が行うことができると考えています。しかし、本研究の結果、語義の違いを表す対 照的なキーワードの提示による効果が類義語の理解に大きく貢献する可能性が見えたことは、本研究の一つの成果と言えます。

また、今回の発表についてご質問・ご意見も頂きました。

・ a 解説・b 解説の違いがよくわからない。区別する必要はあるのか。

意味分析の結果、できるだけ短い対照的な言葉を用いての解説に行き着いたわけですが、それは辞書等では多くなされているような言葉の意味を単独で説明することとは異なります。ただ、そのような端的で対照的な解説を目指しながらも、長くなってしまう b 解説や対照的な言葉を用いてしまった a 解説もあり、線引きがあやふやなものができあがったことも多くありました。そんな中で、調査には、はっきりとした違いが表現できたとしたものを使用することとしましたが、調査後の考察からやはり不十分なものもあったと思われ、それが調査の結果にも表われていたと考えられることは今後の課題でもあります。

・意味分析とそこからの語義解説・例文は恣意的なものでは無いのか。

これまでの先行研究における意味分析同様、基本的に意味分析は筆者一人で行いました。しかし、今回の調査に用いるにあたり、論文に掲載した以外にも数多くの意味分析、解説例題の作成を行い、ゼミのご指導の中で多くのご指摘も受けました。その中から精査したものを今回使用したわけですが、それでも調査後の意見からは「違うのでは」という意見が聞かれたものもありました。これらをふまえ最終的なまとめの中で、より精緻な調査研究のために 必要なこととしての改善点をまとめています。可能であれば、チームとして複数人での正確 な意味分析や問題解説の作成や、その後の予備調査を行いその結果をふまえた本調査を行う ことができれば、より正確な結果が期待できるとし、本論の結びとさせていただきます。

スペイン風邪と新型コロナの比較

一会員

本年 5 月 25 日の研究報告会において、テーマ「スペイン風邪と新型コロナの比較(ワイブル解析等による一考察)」について発表した。以下は、発表内容の重要部分をまとめたものである。

1. テーマを選んだ背景

(1) 新型コロナウイルスによる新型肺炎等は、2023 年 5 月 8 日より、感染症の 2 類より 5 類に下がった為、約 100 年前のスペイン風邪と比較したくなった。

(2) 最近、データサイエンスという学問が注目されている。厚生労働省のビッグデータを利用し、有意義なデータを引き出すことを考えた。

2. スペイン風邪の特徴

(1)スペイン風邪の病原体は、A 型インフルエンザウイルス(H1N1 亜型)。

(2)一般のインフルエンザとの違い

①若年成人が死に至りやすい傾向。(ほぼ半数が 20 歳~40 歳)

(一般インフルエンザは、乳幼児・70 歳以上の高齢者)

②夏から秋にかけて大流行。(一般インフルエンザは冬)

(3)鳥インフルエンザが突然変異して、人に感染するようになった。当時の人々は全く新しい感染症で抗体を持っていなかったことが、大流行の原因。

(4)スペイン風邪は、現在のインフルエンザよりも 30 倍早く増殖した。

(5)このウイルスは、強い致死性肺炎と免疫反応の調節に異常を起こす病原性があった。(新型コロナの 2020 年前半の重症者の症状に似ている。)

(6)感染者数 第 1 波 1918 年 2,117 万人、第 2 波 1919 年 241 万人、第 3 波 1920 年 22 万人、当時の人口 5500 万人(人口比 約 43%)

(7)アメリカ合衆国の市の対応としては、ニューヨーク市の対応が早く、ピークを遅く(流行開始から 35 日)することができた。一方、ボストン市は、流行開始から 8 日でピークを迎え、対応はその後の 5 日後に開始した。

3. スペイン風邪のワイブル解析の機械的意味等と医学的意味

ワイブル解析は、本来、機械部品や電気部品等において、利用される解析法であるが、人の寿命や今回の新型コロナの感染者数にも応用できる。第 2 項(6)の数値を利用して、ワイブル解析を実施した。

(1)機械的意味等

①解析結の結果、形状パラメータ(分布をあらわすもの) $m=0.18$ (発生率が 下がる)。電気部品を含めた機械部品の量産試作段階の寿命試験において発生する現象である。設計不良等が原因で、試験開始直後より多発し、その後は減少する。

②量産開始直後の製品で、使い始めに発生する。

③人の乳幼児死亡期にみられる。

(2)医学的意味

①当時の人々は、抗体を持っていなかった為、すぐに大流行した。人口の約 4 割が第 1 波で感染した。

②第 2 波は、致死率(5.3%)を考えると、強毒化したと考えられる。強毒化により患者が重症で動けなくなり、感染者数が約 1/10 になったと思われる。

③第 3 波は、第 2 波の患者数の約 1/10。集団免疫を獲得したかもしれない。

4. 新型コロナの特徴

(1)2020 年は、軽症約 80%、中等症約 15%、重症約 5%(その内、約 40%が死亡)。発症から 7~10 日目が、中等症以上になるか、治癒するかの分かれ目であった。

(2)ウイルスが多数の臓器に影響する為、多くの症状が現れる。後遺症が長引くことも多い。

(3)ウイルスの変異が多い。死亡率は 2020 年の前半において、5%を超えていた。

(4)インフルエンザとの違い

①年数回の大規模な流行が発生し、死亡者が出ている。

②後遺症が長引くことがある。

(5)感染者数 第1波 2020年2万人、第2波 2020年7万人、第3波 2020～2021年

35万人、第4波 2021年37万人、第5波 2021年92万人(以上 計173万人)、第6波 2021～2022年710万人、2022年第7波1,267万人、2022～2023年第8波1,172万人(以上 計3,149万人)人口比28%であった。

(6)第1波の緊急事態宣言は、結果的にピーク直前に出しており、無意味に近い状態であった。

5. 新型のワイブル解析の機械的意味等と医学的意味

第4項(5)の数値を利用して、ワイブル解析を実施した。

(1)機械的意味等

①2020年1月頃～2021年9月頃までは、形状パラメータ $m=2.4$ 、2021年9月頃より2023年4月頃までは、形状パラメータ $m=5.2$ の複合ワイブル分布(分布の形が途中で変化する。)2021年9月頃より発生分布が大きく変化した。

②二つの分布より、故障原因及び故障機械部品或いは電気部品が2つあると考えられる。

③人の死亡率曲線において、約40歳と約80歳の時に見られる分布の違い。

(2)医学的意味

①第6波から、オミクロン株に置き換わっている。(2022年1月～)

②オミクロン株は、デルタ株より、再感染リスクや二次感染リスクが高く、感染拡大の速度も非常に速い。

6. まとめ(考察)

(1)スペイン風邪は、第1波にて、約2,100万人(人口の約4割)が感染した。第2波以降は、急速に患者数が減少した。

(2)新型コロナは徐々に感染が広がった。第1波は、スペイン風邪の約1/1000の感染者数であった。これは、感染力がインフルエンザの1/100の為と思われる。第6波以降は、感染拡大の速度が非常に速くなった為、感染者が急増したと思われる。

(3)スペイン風邪と新型コロナの感染直後は、共に肺炎が急速に悪化して、死亡した人が多くいた。これは、体の免疫反応が暴走し、自己免疫が自分の体を攻撃する為と考えられる。

(4)新型コロナの感染者数の変化とスペイン風邪の感染者数の変化は、ほぼ逆である。これは、スペイン風邪はインフルエンザであり、感染力が新型コロナの約100倍ある為と考えられる。

(5)新型コロナ第1波は、即できるスペイン風邪の対策例のように、大流行前か直後(流行開始後、2～3日程度)から、集会・イベントの中止、学校の登校制限、仕事の制限等を開始して、感染者のピークを遅らせ、その間に医療体制を整えるべきであった。

(6)新型コロナにおいて、データサイエンスとして有意義となった解析データは下記2項目である。

①第5波を境に、分布の形が大きく変化した。(形状パラメータ m が $2.4 \Rightarrow 5.2$ に変化)

②各波の感染者数のほぼ一定期間は平均27日間。その後、ほぼ正規分布になることが分かった。



投稿

津田梅子 ～岩倉使節団に随行した女子留学生～

桜井 恒雄

1871年(明治4年)、使節団に随行し渡米した我が国初の女子留学生、津田梅子(当時6歳)の11年に及ぶ駐米とその後について、多くの先行研究の中、主に近年の研究 に触れてみた。

梅子は、後に初の女子英学塾を創設し、女子の高等教育と地位の向上に 尽くした人物である。随行の留学生は43名で、内梅子を含む5人(後述)の少女が渡米した。日本の近代国家建設に興味を持ち、放送大学大学院では、岩倉使節団の計画策定 や実施の実務に携わった田辺太一(元沼津兵学校教授)などの動向を中心に研究を進め、 その後も近現代史への興味は尽きない、今回は、この使節団を起点とする具体的な一つ の史実を調べてみた。いわば、津田梅子を考えるためのメモである。

I 当時の女子教育 まず、後に梅子が直面する当時の日本の女子教育を概観しておこう。

1872年の学制発布後、我が国は不学の国民をなくすため、教育の普及に努めたが、 小学校卒業後は、男女別学で、女子教育については根底に女子には高等な学問は不要、との「女子高等教育不要論」が支配的であった。細部は除き、おおまかに男女の進路を見ると、

男子 小学校卒業6年、中学 5 年、高等学校 3 年、大学 3 年

女子 小学校卒業6年、高等女学校 4 年 5 年、又は女子師範学校 5 年、その上は、専門学校3年か4年又は、女子高等師範学校 4 年に限定、大学への道は開かれていなかった。

梅子帰国後の1902年、文部大臣が高等女学校校長会議での訓示の一部で、「結婚し て良妻賢母になることが仕事、女子教育に専門の学問を公に設ける必要はない」との主旨をのべている。

教育基本法をはじめ諸法のもと、女子も男子も同様に学問をし、教養を身につけ自ら考え行動することが当然とされる現代とは教育環境に大きな差があったことがわかる。梅子は、日本の女性たちが高等教育を受け、広い視野を持ち社会に貢献する機会を男性と同じように持つことを心底願っていた。英語教師の養成は、その願いの一端であつた。

Ⅱ 津田梅子(1864～1929)の歩み

梅子の父津田仙は、佐倉藩の武家に育ち、後に武家津田家の婿になり、英語を学び幕府の外交に従事、福沢諭吉などと米欧渡航を経験、幕府が倒れた後、黒田清隆に見出され、北海道開拓使の囑託になり、その後先駆的な農学者として農学校も開いた。妻初子との次女が梅子である。留学は父仙の説得によるものである。まず、主な歩みを一通り見てみよう。

1 駐米(ホームステイ) 梅子船上で7歳

渡米して、チャールズ・ランマン、アデライン・ランマン夫妻邸で留學生活を送る。ワシントン DC 近郊に住むランマン氏は、森有礼駐米少弁務使(代理公使)の書記官で、梅子は夫妻の深い愛情のもと育ち、後の文部大臣森は、女子教育の大切さを強調し、米国の家庭生活の経験を積み、「真の婦人」になることを期待していた。梅子は、セミナリー(小学校)からインスティテュート(ハイスクール)卒業まで、11年間(当初計画10年間)を当地で生活した。

2 政府の帰国命令

17歳 1882年、17歳で当地大学入学前に帰国したが、日本語や生活習慣を忘れ、直後は日常生活が不自由であった。無為の生活の後、1883年から1884年まで伊藤博文邸で家庭教師を勤め、1885年宮内省の官立華族女学校教授補、翌年教授に就任した。しかし、梅子は米国での進学を望むようになった。

3 再び訪米留学 25歳

1889年、願いがかない華族女学校の身分を維持しつつ再留学、プリンマー大学で生物学を修め、1892年同大専科を修めた。この間、日本女性米国派遣の奨学金創設の委員会を設け、8000ドルの寄付金集めの目標をほぼ達成した。同年帰国し、華族女学校に復職した。1898年(34歳)には、女子高等師範学校(お茶の水女子大学の前身)教授兼任となり、同年6月、万国婦人クラブ大会に日本代表として参加のため渡米、ヘレンケラーとも面会、その後招待を受け訪英し視察と勉学、翌年1899年7月帰国、この間、オックスフォード大学での聴講やナイチンゲールとの面会も行った。1900年自己の信念を固め、上記二つの女子学校の職を辞任した。

4 私立女子英学塾の設立と開校 36歳

1900年麹町区1番町で開校、その後5番町に校舎を移転「女子英学塾のためのフィラデルフィア委員会」が財政支援を決定 開校時生徒10名 1904年専門学校に認可され、科目や時間数も増え充実 大山捨松、津田梅子、新渡戸稲造が法人理事に、瓜生繁子は社員として支援 1919年(55歳)梅子病気で塾長辞意、辻マツが塾長代理に就任

5 梅子逝去 65歳

1929年8月16日鎌倉にて逝去、同年、星野あいが塾長に就任 1932年小平に新校舎落成、翌年津田英学塾に改称

6 新制大学の発足

1948年3月25日津田塾大学と改め、前述の日本女性米国派遣奨学生で、梅子と 同じプリンマー大学を卒業し、津田英学塾塾長を務めてきた星野あい、改めて学長に選任された。

Ⅲ 国の女子留学生派遣と梅子の願い

梅子の歩みを一通り見てきたが、その間の国の女子留学生派遣の経緯と、梅子の生涯に 影響を与えたいいくつかの事柄を再掲し詳述して見てみよう。

1 黒田清隆の建議書

1869年開拓使次官黒田は、米国を視察、日本弁務使館で森に会った後、女学 校の設立と女子留学生の欧米派遣を政府に建議した。賢い母が近代国家の土台である と考え、幼い女子の留学を提案した建議である。高橋裕子氏の意識の一部を引用しておこう。

「開拓には人材が必要です。人材の育成には教育が欠かせません。欧米諸国では、子どもたちをとてよく教育していることがわかります。子どもたちは小さい頃 から物事をよく理解しているからです。その理由は、子どもたちの母親に教育が あり学術に基づいて行動しているからです。だから女学校を設け、人材教育の基 盤を持たなければなりません。そして、幼い女子を選んで、学資は開拓使の負担 で留学させたいです。」

2 出発前の明治天皇・皇后の言葉

出発前、外国女子教育や育児方法の学びの勧めの言葉や、皇后謁見で勉学に励むよう お言葉があった。文部省は、5人に留学免許状を出した。黒田の建議書が具現化し、女子留学が国家使命となったのである。

3 岩倉使節団の女子留学生5名の動向

岩倉具視も黒田の建議提案に賛成し、募集したが応募がなく、再募集で。ようやく 5 名の応募があった。吉益亮子14歳、上田貞子14歳、山川捨松11歳、永井繁子8歳、津田梅子6歳である。山川は、後に大山巖陸軍大臣の妻に、永井は、後に瓜生外吉海軍大将の妻となり、二 人は、梅子の塾創設の有力な支援者となった。米国で山川の滞在した家族で、2歳上の 女性アリス・ベーコンは、盟友で右腕として塾の創設を支援した。

4 官費留学帰国後の義務感と生き方の模索

帰国後の無為の日々に、ようやく官立華族女学校や女子高等師範学校への奉職で報 いたが、帰国後の生き方を模索していた。当時の華族女学校の二つの教育方針(要旨)を見ると、

ア 化学理学などの科目は華族の女子にふさわしくなく、学ぶべきでない。

イ 夫につかえ家事につく女子に、高い学問的な訓練の提供をすべきでない、西洋的な教育の導入には警戒が必要 当時女子教育は、男子と異なることが当然な環境であった。梅子の模索の理由の一つと考えられよう。

5 再度の渡米留学 生物学への関心と女性教育への希望の芽生え

留学を共にした永井繁子と山川捨松は、米国のヴァーサ大学を卒業し帰国、山川は 自然科学系の科目も学んでいるが、華族女学校の梅子が、再度の留学先プリンマー大で、国の方針の対極に行く高等教育である自然科学系の生物学を選択したことを古川安氏は、「この選択こそ梅子の生き方を象徴しているように思われる」と述べている。一方、梅子は、米国の女性教育の格差に問題意識を持つトーマス学部長後に学長を模範とした大学生活を過ごした。米国でも、女性は厳しい学問に耐えないとされ、トーマスも父からは、「女性は男性のために創造された」と言われていたことを聞いている。生物学の蛙の卵の発生の研究で注目され、強く求められた科学者への途を断り、帰国を決意した訳は、再度の留学派遣を容認した政府への配慮もあるが、日本の女子教育への願いが明確になってきた事もあったと思われる。トーマスとの出会いは重要な転機 と言えよう。

Ⅳ 女子英学塾の開校 1900年(36歳)、女子英学塾の開校の式辞で、梅子は、専門的な高等教育の塾として、教師の質、教師と学生の熱意。忍耐と勤勉など精神面を重視しながら、個性が識別できる小人数教育を行い、英語に限らず他の分野にも接し、広い識見を持つ「オールラウンド・ウイメン」の養成をめざすと述べた。

ほかでも梅子は、英語の習得について、ことにその文学の研究において、東洋の私達に 西洋の考えを解す鍵を与えてくれるとの主旨を述べ、実用に留めず国際的な文化教養を 高めるためと述べている。米国大学留学で学んだ人文・社会・自然科学・芸術を横断的に学び、人格の形成、陶冶を目指すリベラルアーツ教育の考え方が随所に見える。梅子は、こうした教育を念頭に、現実の済的自立の一助として英語教員の資格を取得するための専門教育の実現を目指すとした。

女性の地位向上については、1916年の卒業式の式次で、次のように述べている。

女性の地位を向上させ、女性領域を拓げ、あらゆる運動において、問題となる最も重要な点は、常に女性自身の価値と能力です。女性に能力があり、健全で責任感があり、賢明かつ公平な判断ができ、信頼を受けるに足ることを証明してはじめて責任、自由、あるいは権利が与えられます
単なる権利要求でなく、女性自身の心構えにも及んでいる。

Ⅴ 女子教育と地位の向上に果たした梅子の役割

梅子は、国際的な視野を持ち、自己の信念に基づく女子教育の実現に帰国後の途を見出した。その際、父の親友の娘アナ・ハーツホン、留学を共にした山川、永井とその留学先の家族や通学先大学に加え、理事を務めた新渡戸稲造(後の東京女子大学学長)など女子英学塾創設とその後に、国内外の交友関係を十分に活かし、支援を拡大し後継者も育成した。

梅子は、いわば我が国女子教育前進の「プロジェクト・リーダー」(高橋裕子氏)としての役割を果たした。政府も国策の留学生の行方には関心が高く、華族女子学校教員の身分を維持しながら、米国への再留学や国際会議への参加、招待された英国への海外視察を認め援助するなど、支援の姿勢が見える。

梅子は、文明国を掲げる国の当初の派遣の意図を上回る、良妻賢母を超えた先進的な女子教育の指導者に成長し、ひいては、日本の近代国家建設に大きな役割を果たしたと言えよう。小説『梅と水仙』の中で、著者植松三十里氏は、冬枯れの寒中真っ先に咲く梅花の健気さを、時代に先がけて女子の英語教育を確立した梅子の生き方に、同様に咲く水仙を、父津田仙の先駆の人生に重ね合わせた。

「不思議な運命で私は幼い頃米国へ参りまして、米国の教育を受けました」と語った梅子は、運命に沿い女子教育向上の先駆を務め、礎を築いた小平の津田塾大学構内の一画に眠っている。

あとがき

画家山口蓬春作「岩倉大使欧米派遣」の図に、横浜港での、小舟に乗った小さな着物姿の梅子が描かれている。筆者が横浜での学生生活を始めた1966年当時、英語の講師が女性で和服に白足袋姿であった。宮村タネ氏(1903～1994)である。梅子の女子英学塾をおえ、その縁でかつて山川、永井が学んだヴァッサー大学に留学し、帰国後再び女子英学塾で教鞭をされた事を後に知った。いわば遠く津田梅子につながる授業であり、懐かしく思い起こしている。また、以前津田塾大学梅子資料室を見学し、横浜出港時の梅子の実物の着物、久米邦武がまとめた岩倉使節団の米欧回覧実記初版本、大学史などを見せていただいたことを憶えている。

主な参考文献

「オープン フォーラム 第 10 号」放送大学 2014年

高橋裕子『津田梅子 女子教育を拓く』岩波書店 2022年

高橋裕子『津田梅子の社会史』玉川大学出版部 2002年

橘木敏明『津田梅子』平凡社 2022年

古川 安『津田梅子—科学への道、大学の夢』東京大学出版 2022年

植松三十里『梅と水仙』PHP 研究所 2020年

亀田帛子『津田梅子とアナ・C・ハーツホン』双文社 2005年

古木宣志子『津田梅子』清水書院 1992年

山崎孝子『津田梅子』吉川弘文館 1968年

ちょっとした投稿

坂倉 幾夫

先日、滋賀県の琵琶湖博物館を扱った放送大学の授業をチラ見したのがきっかけで、行くことにした、ついでに大河ドラマで話題の石山寺まで足を延ばしすことにした。

さて、琵琶湖博物館は、規模の大きさや研究項目の広さなど驚きました。自然科学としての琵琶湖という観点だけでなく、その周辺の人々の昔の暮らしや歴史、また現在の暮らしつまり歴史学、考古学、社会学や農業まで融合しようとしているのだということでした。これは意を決して一日つぶすつもりで来ないと水族館もついているので、全部見るのは、無理だなと感じました。一つだけ印象のあることを記すと、琵琶湖は長い間「湖」だった、いまも「湖」であるということの不思議である。通常「湖」は堆積物で埋まってしまうのだという。琵琶湖自体も位置は変遷を繰り返してきた。現在の琵琶湖西岸にある断層が地震などにより沈降し、深くなるので、ずっと「湖」が続いているとのことでした。

また、石山寺は、山門からやや長い階段を登ると、巨大な岩が目の前にある。その先は、美しい多宝塔であり、本堂は左側にある。また、本堂自体は、横を向いている。その巨大な岩は、石灰岩が、熱せられて珪灰石という石に変わったということであり、天然記念物となっている。また、この寺自体が、その名のとおり石の山にあるということらしい。古代人がこの石が生成していく様子を見たら、何か、神聖なもののように見えたのかもしれない。お寺とか神社の始まりはこういうものかもしれないという思いをもって、帰路につきました。以上

議事録 放送大学静岡同窓会総会

総会の模様を報告します。

日 時： 令和 6 年 4 月 20 日(土) 午後 1 時 00 分～1 時 30 分

場 所： 学習センター 304 教室

I 開会の辞 同窓会長

II 挨拶 放送大学センター所長

III 議 事

第1号議案 令和 5 年度事業報告 承認

第2号議案 令和 5 年度収支決算報告 承認

第3号議案 令和 6 年度事業計画 承認

第4号議案 令和 6 年度収支予算計画 承認

第 5 号議案 役員改選 承認

閉会の辞

【第1号議案】同窓会事業報告(令和5年度)

4月22日(土) 同窓会総会 13:00

記念講演 14:00 本多隆成元センター所長「家康の駿府築城と天守台」

25名参加 他にYouTubeにて20名参加 懇親会 16:30 はなの舞 19名

5月22日(月) 同窓会連合会定期総会 ZOOMにて実施

5月27日(土) 研究発表会 13時半—16時40分 視聴覚室にて

20名参加 他にYouTubeにて28名参加

§ 篠崎久昌氏 「非正規労働者と放送大学とのかかわり—不当解雇係争中での放送大学入学から」

§ 菊池敏郎氏 「残存歯数と人の寿命の関係(ワイブル解析を利用した残存歯数と人の寿命の関係についての一考察)」

§ 遠山正生氏 「アルゼンチンタンゴにおける愉悦感の要因に関する研究」

§ 望月恵子氏 「教員の〈わたし〉が立ち現れる瞬間の探究 —総合環境療法の治療構造を背景にして—」

6月10日(土) 役員会 ZOOMにて実施

8月1日(火) 本部見学会(演奏所及びスタジオ見学)中止

8月20日(日) 役員会 こうりゅう発送 「こうりゅう」第14号発行

10月1日(日) 静岡学習センター学位記授与式 呈茶席 参加13人

10月14日(土) おしゃべりサロン お伊勢参りについて 参加5人

11月1日(火)2日(水) 第10回東海・北陸同窓会交流会福井市、参加。坂倉

12月9日(土) 定例役員会 午前中 コラージュの会 14:00から16:00 参加20人

2月17日(土) 落語会 貸し切りバスは中止、現地集合に変更して9人参加

国立博物館 中尊寺金色堂展 鈴木演芸場、寄席

3月30日(土) かたりば広場 連合会がZOOMを使用して、皆で考えようという取り組み、今回は、南海トラフ大地震を中心に、石川県の役員の野と自身の体験談を聞いた。特に阪神淡路大震災に際して、地震の4日前に、子供たちに、神戸にも地震がくる。地震が来ないといわれているのは誤りだと授業を行った方の話を聞いた。

4月6日(土) 学位記授与式後、呈茶席の代わりに懇談会(ジュースとお菓子)

以上

2022年の学生支援事業報告は、総会には提出しましたが昨年のこうりゅうに掲載しませんでしたので、ここに掲載します。学生支援事業は、帳簿・書類についてはセンター休憩室の棚に、いつでも見れるようにしてあります。

学生支援事業助成金 報告 2022					
	日付	収入	項目	支出	項目
	12 月 26 日	79713	助成金連合会から	23,300	役員交通費川奈
	2/1 から配布			6,220	役員講師交通費研究報告会
				36,000	聚光院入場料 20 人
	12 月 27 日			12,928	プリンター、インクカートリッジ amazon
	1 月 5,8,9 日			1,265	コピー用紙 5 部
	計	79,713		計	79,713

学生支援事業助成金 報告 2023					
	日付	収入	項目	支出	項目
		80,000	助成金連合会から	36,420	呈茶席その他行事
		1,517	落語の残金から	4,560	本田先生
				12,100	中尊寺展補助 前売り券 11200 円 8 人と当日の学割料金 1 人 900 円
				16,821	案内用はがき 3 回
				11,617	インクカートリッジ amazon
	計	81,517		81,517	

学生支援事業助成金の予定 2024

	日付	収入	項目	支出	項目
		80,000	助成金連合会から	30,000	交通費
				20,000	案内用はがき 2 回
				12,000	インクカートリッジ amazon 2 回分 4 本
				18,000	見学会補助
	計	80,000		80,000	

【第3号議案】 同窓会事業計画(令和6年度)

4月6日(土) 学位記授与式後、卒業生を茶話会誘う 20人参加

4月20日(土) 役員打ち合わせ会 総会の対応

同日に令和6年度定期総会 20人参加

1.日時 2024年4月20日(土)13:00

講演会 14:00～15:30(後半15分質疑応答)

2. 場所 放送大学静岡学習センター 304 教室

講演者 伊豆の国市役所 文化財課調査員 池谷初恵氏

講演テーマ 遺跡から見る伊豆の鎌倉北条氏の足跡

中世、北条氏の伊豆における遺構を発掘している伊豆の国市役所職員 池谷初恵さんから、北条家の館の当時の模様を、説明していただきました。また、ちかくにある北条氏のゆかりのある願成就院についても、吾妻鑑の記事と発掘調査を比較しながら当時の様子を説明していただきました。鎌倉幕府滅亡後、北条氏の屋敷跡は、円成寺が建立されています。その後、北条早雲が、韮山に拠点を設けて、二代目から北条氏を名乗ることになるとのことでした。

懇親会 南口はなの舞、料金は4000円 参加17人

5月25日(土) 研究発表会 (投稿をしていただきました。) センターにて 参加者25人

研究ノート 坂倉幾夫「地球温暖化とヒートアイランド現象の違い～今何ができるか?～」

調査研究 菊池敏郎「スペイン風邪と新型コロナウイルスの比較～ワイブル解析等による一考察～」

修士論文 竹本裕之「生物への同一化を通じた環境学習プログラム参加者における

超個的自己認識構造」

修士論文 後藤りか「日本語教育における類義語指導をめぐる一考察

～説明法と理解度に関する調査結果に基づいて～」

6月1日2日第27回連合会総会 幕張にて



幕張の放送大学本部の図書館にて、同窓会連合会の総会が行われました。翌日はセミナーハウスの場所を移して、同窓会情報交換会が行われました。5年ぶりの対面の総会で、多くの情報交換ができ、盛り上がりしました。

ここまでは、こうりゅう発行時点で終わっておりますので、予定ではなく報告となります。

8月10日(土) 定例役員会、終了後「こうりゅう」第15号発行

落語会の取り扱い 来年2月は中止 バス代が安くなるのを待つ

ウォーキングの実施 江の浦測候所、千住さんの襖絵と同様の会 解説してくれる人が?

9月7日 同窓会連合会 かたりば広場 ZOOMにて坂倉まで連絡下さい。

9月14~15日 **東海北陸地区同窓会交流会 名古屋にて 同窓会の運営等の情報交換等
旅費は出すので参加者募集しています。**

10月 放送大学学位授与式、入学者の集い 定例役員会と呈茶席を計画

10月13日(土) おしゃべりサロン 災害の多い日本で、防災を考える みんなで討論(おしゃべり)しよう。

12月 定例役員会

4月 学位記授与式後、茶話会(ジュースとお菓子)

4月 定期総会

秋には、郵便料金が上がります。そのため総会については、案内をはがきで行い、こうりゅうで、その年度の事業報告や計画を伝えるという方針にしました。

出来るだけ、メールを利用する LINEworks や LINE の利用も研究したいですね。

【第2号議案】 令和5年度 同窓会 会計報告

総収入 452,257

総支出 53,341

差引残高 398,916

	収 入			支 出	
項 目	金 額	備 考	項 目	金 額	備 考
繰越金	383,303		通信費	25,434	葉書、切手
会費収入	15,000	5000×3人	事務費	16,096	印刷代、コピー代
預金利子	2		雑費	5,250	
バッジ売り上げ	1500	3個	教材費	3,110	
			繰越金	349,915	
合 計	399,805		合 計	399,805	

【第4号議案】 令和6年度 同窓会支出 予算

総収入 404,917

総支出 50,000

差引残高 354,917

	収 入			支 出	
項 目	金 額	備 考	項 目	金 額	備 考
繰越金	349,915	前年度	通信費	30,000	
会費収入	50,000	10人	事務費	15,000	
預金利子	2		交通費		
バッジ売り上げ	5,000	10 個	予備費	5,000	
			繰越金	354,917	
合 計	404,917		合 計	404,917	

【第5号議案】 令和6年度放送大学静岡同窓会役員の承認 今後、役員の募集をしていきます。新しい役員が決まれば、2年の任期を待たずに総会を開催して変更します。

会長 坂倉幾夫 副会長 長澤英代 会計 横山典子 監査 太田香名子

役員 菊池敏郎 役員 唐沢 啓 役員 内藤里美 顧問 寺田雄三

【編集後記】

「こうりゅう第15号」をお届けします。

今年も暑い夏がやってきます。梅雨明けを待たずに静岡では40度を超える暑さがニュースになりました。自分の体を過信せず、健康に気を付けて共に過ごしましょう。

